



# 独自要因で注目を集める 勝ち組消費企業

～IT・ハイテク以外にも魅力的な銘柄が並ぶ～

PASSION  
FOR THE  
BEST

# 目次

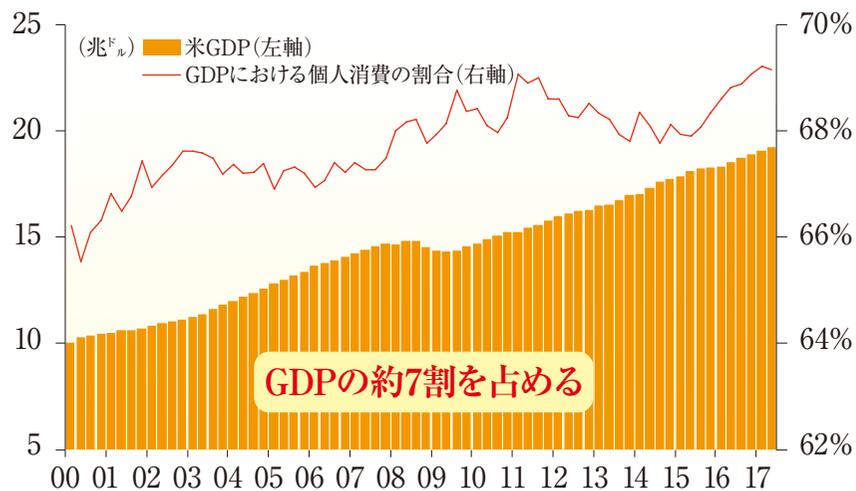
消費動向は堅調	2
①「自己変革」が株価上昇に直結	3
ウォルマート (WMT)	4
②「フランチャイズ化」が主流に	5
マクドナルド(MCD)	6
コカ・コーラ (KO)	7
③「コト消費の拡大」が追い風	8
プライスライン・グループ (PCLN)	9
マリオット・インターナショナル (MAR)	10
④「リブランド局面」を捉える	11
コーチ (COH)	12
リスク事項	13

本資料は、投資の参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資に関する最終決定はご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料は、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります。

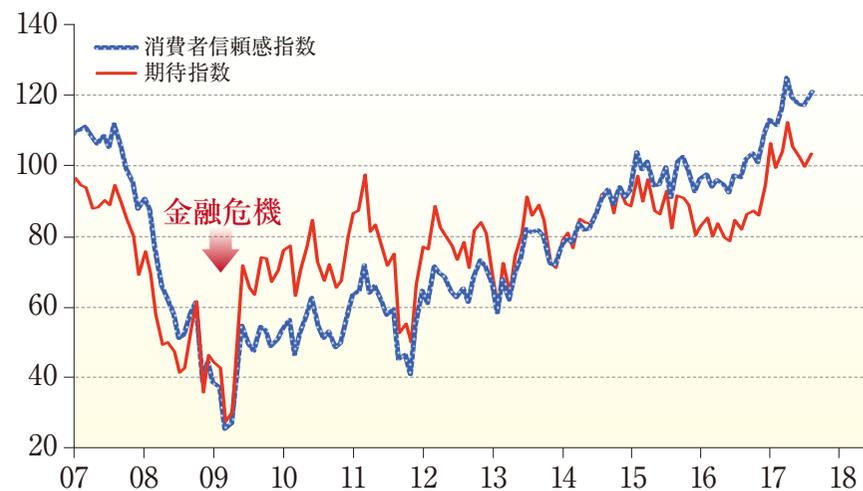
# 消費動向は足元堅調

- ✓ 米国のGDPは世界のおよそ2割を占める
- ✓ 中でも個人消費が全体の約7割を占めるほど大きい
- ✓ その消費動向は金融危機後一貫して堅調な推移を見せている

## ■米GDPと個人消費の割合



## ■米消費者信頼感指数

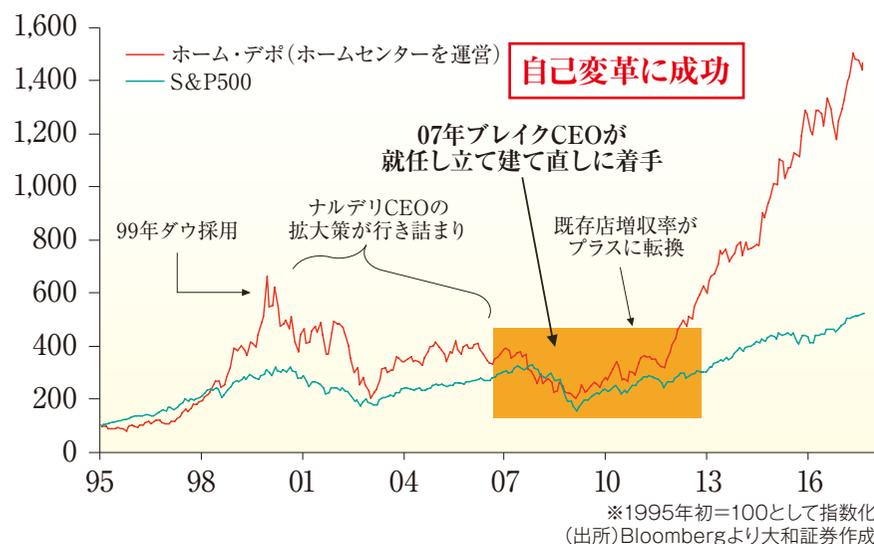


本資料は、投資の参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資に関する最終決定はご自身の判断でなさいようお願い申し上げます。本資料は、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります。

# ①「自己変革」が株価上昇に直結

- ✓ 海外では大胆な自己変革を伴う企業再生が頻繁に見られる
- ✓ この変革局面こそ株価上昇が最も期待されるタイミングである
- ✓ 足元、ウォルマートがEコマース事業を突破口に改革を実行中

## ■ホーム・デポは自己変革に成功



## ■主な外国企業 自己変革事例

アップル (高機能携帯端末)

PC→モバイル端末

マイクロソフト (ITサービス)

PC向けOS→クラウド、モバイル

エヌビディア (半導体)

PCゲーム→AI、自動運転

本資料は、投資の参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資に関する最終決定はご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料は、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります。

世界最大のスーパーマーケットチェーン

# ウォルマート (WMT NYSE)

## ●「我々はゲームチェンジャーになれる」(マーク・ロア)

### 巨大企業

年間売上高は約55兆円で  
世界最大規模を誇る

●従業員数は230万人でこれも世界首位。米国店舗数は5,300店で米人口の90%が同社店舗の営業圏(16km)内に居住。ビジネスを支える物流などの資産規模も巨大。(2017年8月作成時点)

### 変革の時

2016年9月、ジェット(Eコマース)  
を30億ドルで買収

●ジェットは短期間に急成長した企業として有名。ウォルマートCEOは「デジタル企業に変わりつつある」と発言。生鮮分野で一日の長を持つ同社のオンライン戦略進展に期待が集まる。

### マーク・ロア

アマゾンキラーと呼ばれる  
稀代のベンチャー経営者

●ジェット創設者のロアはウォルマートUS-Eコマースの社長に就任。企業変革のタクトを託された。アマゾンが持たない、生鮮分野での優位性を武器に、Eコマース戦略の進化を図る。

### ■ウォルマートの株価推移(週足)

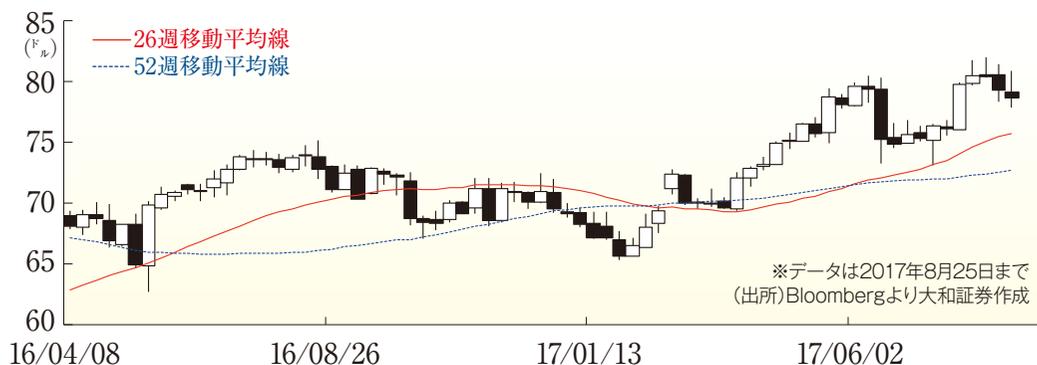


写真:ロイター/アフロ

本資料は、投資の参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資に関する最終決定はご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料は、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります。

## ②「フランチャイズ化」が主流に

- ☑ フランチャイズ比率を高く保ち**効率経営**を続ける**ドミノ・ピザ**の株価が堅調
- ☑ **マクドナルド**や**コカ・コーラ**もこの流れに追随
- ☑ IT大手の株価上昇率にも見劣りしない**ドミノ・ピザ**同様の展開を想定

### ■フランチャイズ化を進める理由

直営店、自社保有



フランチャイズ化

- 一時的には売上の減少
- + 収益性・キャッシュフローの改善

**筋肉質な財務体質を築く**  
**商品開発や販売戦略を加速**

### ■ドミノ・ピザ株価はIT大手と遜色ない動き



本資料は、投資の参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資に関する最終決定はご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料は、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります。

世界最大のファーストフードチェーン

# マクドナルド (MCD NYSE)

## ●「店舗運営の改革を進める」(イースターブルックCEO)

### 敏腕CEO

15年にイースターブルックCEOが  
就任し改革を開始

●06年にマクドナルドUKのCEOに就任。健康・安全を切り口に同社を復活に導いた。本体CEOに就任すると、即座に18年までにフランチャイズ比率を81%→90%に高めると宣言。

### 改革の効果

矢継ぎ早の改善策を繰り出し  
成長企業へ変貌した

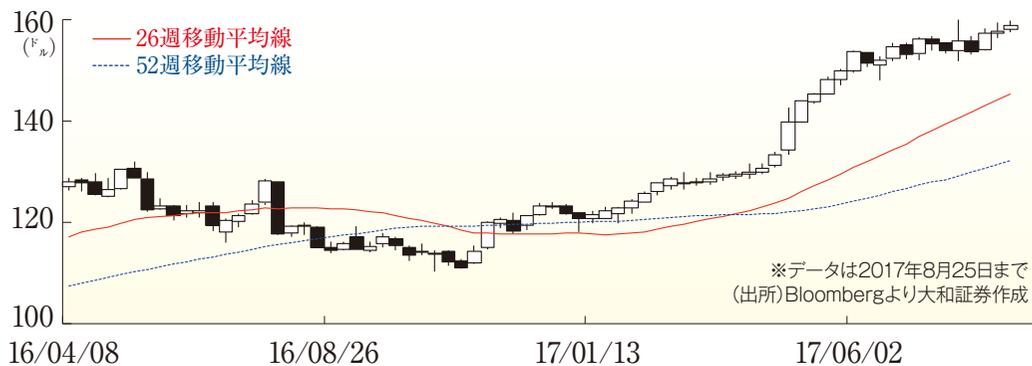
●朝食メニューの終日化や費用の見直しなども同時に遂行。15年7-9月期の既存店増収率が2年ぶりにプラスに転換。以降8四半期続けて既存店増収率はプラス基調を維持している。

### 材料豊富

一段の成長を見据えて  
投資・改革を続ける方針

●米国ではフランチャイズ店の再アップグレードでこ入れを進める他、中国では22年までに店舗数を2倍に増やす(中国事業は大半を17年1月にCITICグループに売却)計画。

### ■マクドナルドの株価推移(週足)



本資料は、投資の参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資に関する最終決定はご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料は、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります。

米国最大手の清涼飲料水メーカー

# コカ・コーラ (KO NYSE)

## ●「何事にも慎重という企業文化を一掃したい」(クインシーCEO)

### 事業再編進む

#### 14年よりボトリング事業の再フランチャイズ化を開始

●ボトリング事業(製造、物流、販売等)の再フランチャイズ化(直接保有ボトラー事業の再編、譲渡を推進)を進め、**コアビジネスに注力するという戦略**を2014年半ばより開始。

### 業績反転へ

#### 17年を底に業績は今後反転していくとの見方

●収益性の低い同事業を切り離すことで、一時的には売上の減少を招くが、収益性の改善が見込める。また、CF(キャッシュフロー)の改善も期待できる。**2017年を底に収益性・CF共に改善する見通し。**

### 革新を怠らない

#### 総合飲料会社への脱皮を図るという強い意思表示

●健康意識の強まりで、ゼロブランド強化など低糖・無糖飲料の一段のポートフォリオ拡充が避けられない。これほどのブランド力を誇る同社が**革新を怠らない姿勢は米国企業ならではの。**

### ■コカ・コーラの株価推移(週足)



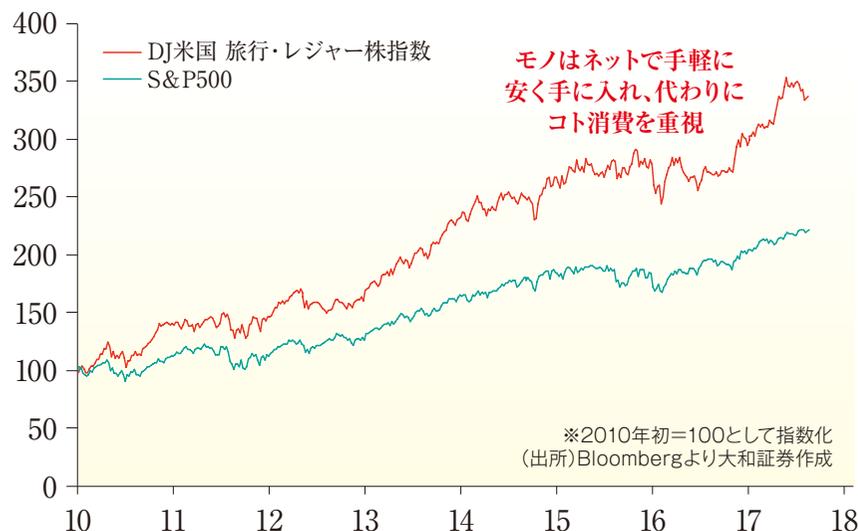
写真:ロイター/アフロ

本資料は、投資の参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資に関する最終決定はご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料は、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります。

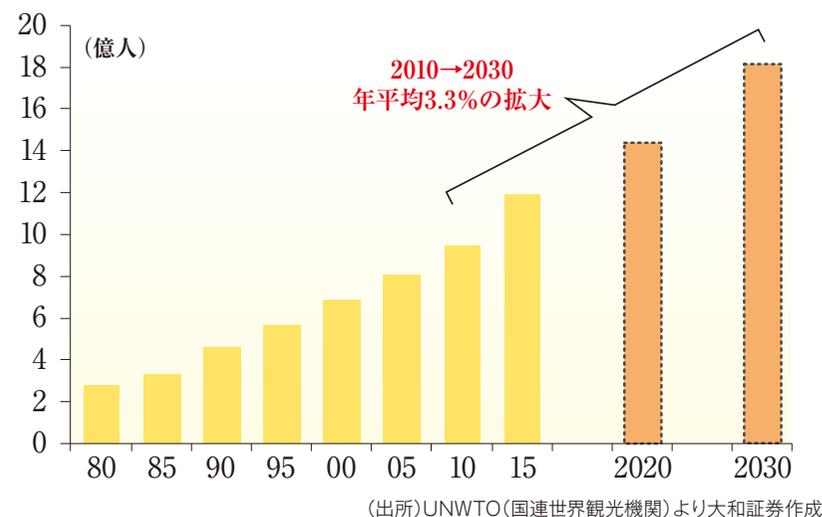
# ③「コト消費の拡大」が追い風

- ☑ 「モノ消費」から、体験や経験を重視する「コト消費」へのシフト
- ☑ 旅行者数は新興国の伸びを受け**2030年に2010年比倍増**の予測
- ☑ **プライスライン**や**マリオット**といった旅行拡大恩恵銘柄に注目

■ 旅行株指数は堅調な株価推移



■ 世界旅行者数は拡大が続く見通し



本資料は、投資の参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資に関する最終決定はご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料は、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります。

オンライン旅行世界大手

# プライスライン・グループ (PCLN ナスダック)

## ●「我々の旅行事業は強力で健全だ」(フォーゲルCEO)

### M&A戦略

#### 時価総額はライバルを突き放し 世界首位を堅持

●2005年にブッキング・ドットコムを買収。中国オンライン旅行サイト首位のシートリップにも出資。レンタカーやレストラン予約サイトなども買収、**オンライン旅行会社首位の座を固める。**

### コト消費

#### モノより体験や経験に 重きを置くコト消費拡大の恩恵

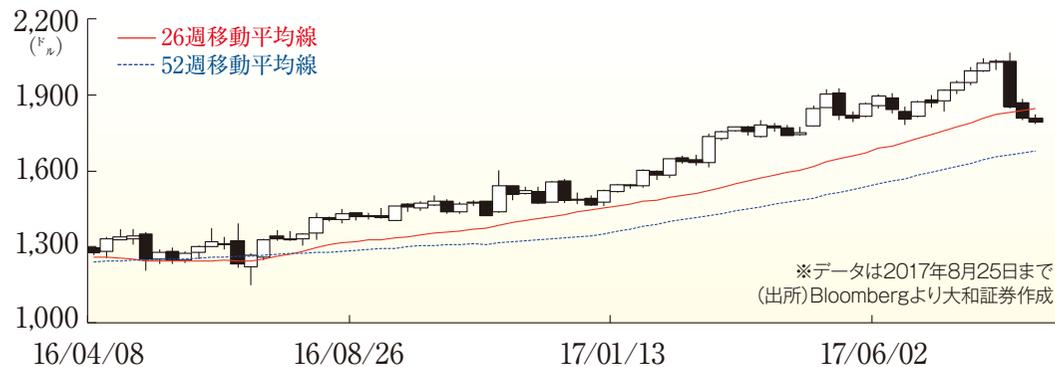
●**コト消費は世界的に拡大傾向。**スマホとネット通販の拡大により、モノは手軽に安く手に入れ、代わりに「体験」や「経験」に重きを置く姿勢が強まっていることが一因と考えられる。

### 民泊の恩恵

#### 自社予約サイト上で 民泊物件紹介を強化している

●ブッキング・ドットコムは過去1年間で民泊物件の登録数が前年比50%増の61.3万件と発表。また、米国の**休暇用民泊市場は2016年に11%拡大した**と報じられている。

### ■プライスライン・グループの株価推移(週足)



本資料は、投資の参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資に関する最終決定はご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料は、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります。

世界最大のホテルチェーン

# マリオット・インターナショナル (MAR ナスダック)

## ●「今後スターウッドの買収効果が期待できるだろう」(ソレンソンCEO)

### 幅広いブランド

#### 供給部屋数の世界シェアは ヒルトンを押さえ首位

●2015年に同業のスターウッドを買収。ホテル数の多いシェラトンやウェスティンなどを獲得。マリオット、リッツ・カールトンブランドと合わせ幅広い顧客層を取り込むことが可能となった。

### アセットライト戦略

#### 資本効率を重視し、 ホテルはフランチャイズが基本

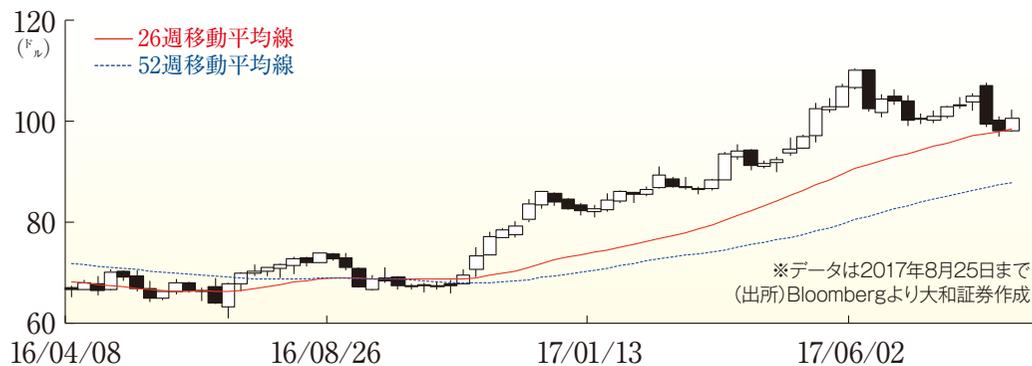
●同社はフランチャイズ契約を結び、ホテル運営企業にブランドを貸し出し、売上の約5%を徴収するビジネスモデル。スターウッドは自社保有が多く今後資本効率化余地が大きい。

### 旅行者増の恩恵

#### アリババと提携し中国での 旅行関連サービスを拡大

●旅行者数は2030年に2010年比で倍増する見通し。特に、中国など新興国での伸びが予想されている。17年8月、マリオットはアリババとの提携を発表、中国事業の強化を図る。

### ■マリオット・インターナショナルの株価推移(週足)

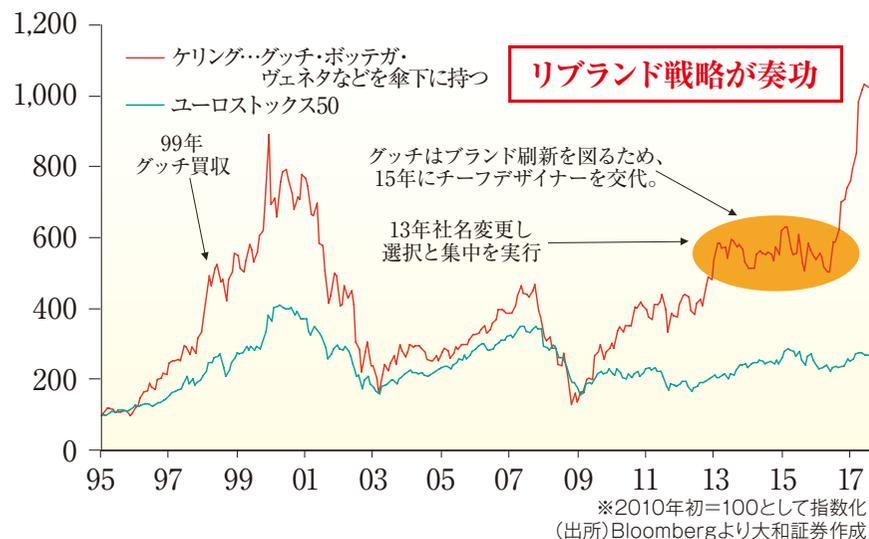


本資料は、投資の参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資に関する最終決定はご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料は、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります。

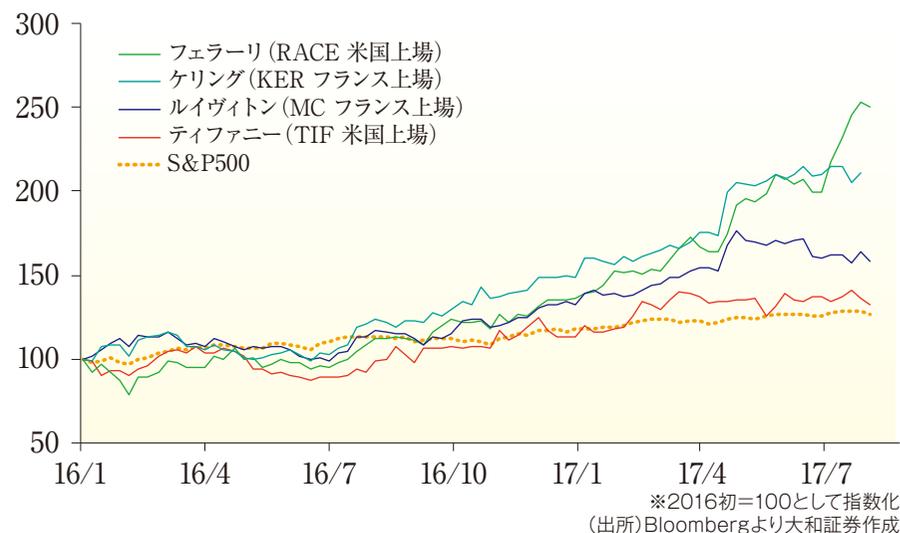
# ④「リブランド局面」を捉える

- ☑ 世界的な景気拡大・株高を背景に消費活動が活発化
- ☑ 潮流の変化を逃さず変革が進むラグジュアリー業界に注目
- ☑ コーチはリブランドの効果がこれから期待されると見ている

■グッチ復活が転機となったケリング



■高額消費関連株のモメンタム強い



本資料は、投資の参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資に関する最終決定はご自身の判断でなさいようお願い申し上げます。本資料は、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります。

老舗米高級ブランド

# コーチ (COH NYSE)

## ●「ケイト・スペードの海外での成長余地を引き出す」(ルイスCEO)

### リブランド局面

#### 13～14年にCEOとデザイナーを 入れ替える荒療治

●競争激化に加えディスカウントの横行に伴うブランドイメージの失墜を招き業績が悪化していた。14年にコーチ・ジャパンを立て直したルイスがCEOに就任し改革を開始。

### 新デザイナー

#### スチュアート・ヴィヴァースが ブランドイメージを一新

●店作りと商品で以前のイメージを一新する方針を打ち出す。モダンラグジュアリーという新イメージ浸透が徐々に進み、16年1-3月期には3年ぶりに北米既存店売上がプラスに転換。

### 買収戦略

#### 2017年5月にケイト・スペード の買収を発表

●ケイトは米国売上比率が高く海外戦略はほぼ手付かずの状態。コーチの海外事業ノウハウを活かした事業改革が期待される。コーチにとっては競合が減り価格競争圧力も低下。

### ■コーチの株価推移(週足)

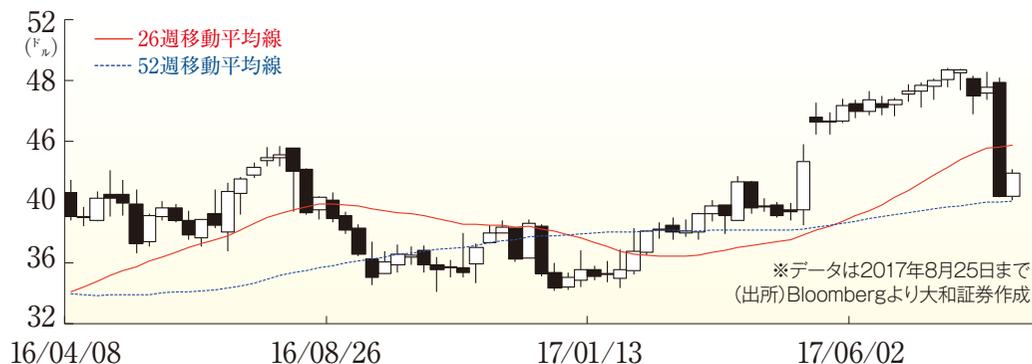


写真:AP/アフロ

本資料は、投資の参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資に関する最終決定はご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料は、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります。

# お取引にあたっての手数料等およびリスクについて

## 手数料等およびリスクについて

- 株式等の売買等にあたっては、「ダイワ・コンサルティング」コースの店舗(支店担当者)経由で国内委託取引を行う場合、約定代金に対して最大1.24200% (但し、最低2,700円)の委託手数料(税込)が必要となります。また、外国株式等の外国取引にあたっては、現地諸費用等を別途いただくことがあります。
- 株式等の売買等にあたっては、価格等の変動による損失が生じるおそれがあります。また、外国株式等の売買等にあたっては価格変動のほかに為替相場の変動等による損失が生じるおそれがあります。
- 信用取引を行うにあたっては、売買代金の30%以上で、かつ30万円以上の委託保証金が事前に必要です。信用取引は、少額の委託保証金で多額の取引を行うことができることから、損失の額が差し入れた委託保証金の額を上回るおそれがあります。
- 債券を募集・売出し等により、又は当社との相対取引により売買する場合は、その対価(購入対価・売却対価)のみを受払いいただきます。円貨建て債券は、金利水準の変動等により価格が上下し、損失を生じるおそれがあります。外貨建て債券は、金利水準の変動に加え、為替相場の変動等により損失が生じるおそれがあります。また、債券の発行者または元利金の支払いを保証する者の財務状況等の変化、およびそれらに関する外部評価の変化等により、損失を生じるおそれがあります。
- 投資信託をお取引していただく際に、銘柄ごとに設定された販売手数料および運用管理費用(信託報酬)等の諸経費、等をご負担いただきます。また、各商品等には価格の変動等による損失を生じるおそれがあります。

## ご投資にあたっての留意点

- 取引コースや商品毎に手数料等およびリスクは異なりますので、上場有価証券等書面、契約締結前交付書面、目論見書、等をよくお読みください。
- 外国株式、外国債券の銘柄には、我が国の金融商品取引法に基づく企業内容の開示が行われていないものもあります。

商号等:大和証券株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第108号

加入協会:日本証券業協会、一般社団法人日本投資顧問業協会、一般社団法人金融先物取引業協会、一般社団法人第二種金融商品取引業協会

本資料は、投資の参考となる情報提供のみを目的としたものです。投資に関する最終決定はご自身の判断でなさいますようお願い申し上げます。本資料は、当社が信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。また、本資料に記載された意見や予測等は、資料作成時点の当社の判断であり、今後、予告なしに変更されることがあります。